

パブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について

白老町以西の7市町（室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町・白老町）の市民・町民の意見を募集するパブリックコメント手続を行なったところ、次のとおりご意見をいただきました。ありがとうございました。

ご意見に対する結果（意見の概要と協議会の考え方）をまとめましたので、お知らせします。

今後は、提出のあったご意見は、計画推進にあたり参考にまいります。

案 件 名	北海道登別洞爺広域観光圏整備計画案	
意見の募集期間	平成21年12月28日から平成22年1月27日まで	
担 当 部 署	北海道登別洞爺広域観光圏協議会（事務局 登別市観光経済部観光室）	
意見の提出件数	8件（意見提出者数 2人（個人2））	
提出された意見の概要と協議会の考え方		
	意見の概要	協議会の考え方
1	<p>現在各地でご当地スイーツが人気です。登別から洞爺湖まで市町村独自の観点からスイーツを開発していただき、食べ歩きやテイクアウトができるようにすると良いと思います。</p> <p>スイーツの販売は1社で独占するよりも、個々のお店で統一ブランドを使用し、多種多様な味が楽しめるような仕組みを作るのが良いと思います。そうすることで地域のブランドとして定着して、地元経済への波及効果も大きいように思います。</p>	<p>本整備計画案では、地産地消を基本とした食に着目し、食による観光魅力を向上させることを目標の一つとし、第5章「観光圏整備事業に関すること」において、食材の観光利用などを事業を掲げています。</p> <p>いただいたご意見の「ご当地スイーツ」は、たとえば壮瞥町のりんごやさくらんぼ、豊浦町のいちごなどの果物と登別市の牛乳などの酪農品と組み合わせたものが圏域内でのブランドとしてなり得ると考えますので、今後協議会において食に関するさまざまな事業展開を進めてまいります。</p>
2	<p>ネット動画を活用して観光の促進を図るのが良いと思います、観光情報を広めるにあたり従来はTVや雑誌に依存せざるを得ませんでした。しかし、広告効果の持続性に欠けることから最近ではネット映像にその軸足が移りつつあります。</p> <p>例えば福岡では本格的な内容の番組（リッチコンテンツ）をネット映像で提供しており観光誘致の協力的なツールになっております。</p> <p>西胆振圏においても美しい風景や地域の文化、あるいはユニークな店の情報など積極的に流す必要があると思います。</p> <p>とりわけ「本州（海外）向けコンテンツ」を強化することで、この地域への関心が高まり観光のみならず裾野の広い産業への経済波及効果ができると思います。</p>	<p>従来の観光情報の広報媒体である雑誌やマスメディアは費用対効果からすると、一時的には効果があるものの、長期的な効果が続かないことが考えられます。</p> <p>いただいたご意見の「ネット画像」の利用は、そのときの映像が瞬時に見られるなど、今後その利用が増えると予想されますので、圏域内の豊かな観光資源を素材にし、費用対効果を考慮しながら、利用を図ってまいります。</p> <p>なお、整備計画案の「観光情報発信等事業」においては、ITを活用した情報発信を推進することとしております。</p>

3	<p>団体から個人及び外国人へ、そして体験観光から回遊観光へと</p> <p>登別温泉・洞爺湖温泉をコアにした広域観光の提唱は私としては以前から望んでいた事です。この施策で観光客の入り込みが増大する可能性は大きいと思いますが、消費を促す施策(戦略)を各地域の商業従事者参加で考える事も必要でないのでしょうか。</p>	<p>観光産業は、第一次産業から第三次産業までの産業が連携し合う複合的な産業であり、裾野の広い産業であると考えています。</p> <p>このたびの胆振管内白老町以西7市町の自治体関係者はもとより、観光協会や事業者が互いに協力し合うことが、消費の拡大や観光客の増加につながるものと考えております。</p> <p>これからも事業者の参加を積極的に促してまいります。</p>
4	<p>宿泊客の増加を促す施策</p> <p>現状は各宿泊施設の営業努力と旅行代理店のツアー企画及び・携帯のウェブサイトからの宿泊予約であります。登別・洞爺湖温泉の二拠点及び参加地域での観光プロジェクトのツアー企画の製作と販売をする事業所の設立は可能でしょうか。理由は、全国・全道組織の旅行代理店からのツアーであるとしても地域の意見が加味されないのと価格がきつい、利益が出ないと云う事です。地域独自の観光プログラムであれば地域の観光資源を生かす事もでき、また利益を出すことも可能です。利益が多ければ「ホスピタリティ」が充実します。</p>	<p>観光圏整備法に基づき、本観光圏が国から認定されることにより、宿泊事業者が圏域内限定で旅行業代理業の取得が可能となることから、本整備計画では、その取得について研修を行う事業を掲げています。この実現によって、地域独自の観光プログラムの造成や実施が可能となり、ひいては観光客の増加につながり、結果として宿泊事業者の利益確保につながるものと考えています。</p>
5	<p>食の文化の形成</p> <p>各地域で「食」の施策が検討しておりますがこの地域では室蘭のやきとりとカレーラーメンですが、まだメジャーとは云いがたい状態です。参加地域全体で北海道B級グルメの開催をするべきではと思います。今現在は関東・関西ではB級グルメツアーが外国人の観光客にも受け入れられていると聞き及びます。如何に販売しても広告宣伝をしなければ広がりません。マスコミ対応にはB級グルメの開催は最良の媒体と思いますが。</p>	<p>圏域内は高質な食材を産する地域であることから、食を観光に結びつけることに着目しています。たとえば圏域内では、収穫・水揚げされる食材を旅行者に供することや新たなメニュー開発、流通の工夫などの取り組みを進めることとしています。</p> <p>ご提言のB級グルメの開催は、マスメディアへの露出の一つの方法として適当であると考えますので、B級グルメの事業の展開を今後検討してまいります。</p>
6	<p>冬季間の集客に関して</p> <p>参加地域には観光客の集客ができるスキー場がありません。つまり集客可能な観光資源を創り上げなければならないと云う事です。その施策はありますか。</p>	<p>圏域内には3つのスキー場(室蘭市・だんぱらスキー場、壮瞥町・オロフレスキー場、登別市・カルルス温泉サンライバスキー場)があります。冬季間の集客には、スキー場と観光振興との結びつきが重要ですので、従来にも増して一般利用者の確保や修学旅行の誘致に努めてまいります。</p>
7	<p>登別・洞爺二拠点からの各地域への観光客の散開に関して</p> <p>二つの観光拠点からの各地域への流れを如何に作り上げるのかその戦略はあるのでしょうか。</p>	<p>ご意見の登別や洞爺の二つの拠点を中心にした観光振興のほかに、登別や洞爺以外の圏域内及び圏域外からの観光客の動線を考慮する必要があります。たとえば圏域内での移動や千歳空港、ニセコ方面、函館方面からの流れも重要と考えます。今後はシャトル交通や循環交通、圏域内レンタカー利用促進など二次交通の整備について検討してまいります。</p>
8	<p>計画の総評</p> <p>事業体の明細は予算の問題もあり今後のテーマと成るのですが、この計画通りに施行されれば地域の観光客の入り込みが15%~20%は増大するのではと思われます。あとは如何に消費に繋げるのか、地域の取り組みと関係各位の皆様のご健闘を願うばかりです。できれば雇用・賃金に反映できるぐらいの成功を期待したいと思います。</p>	<p>1でもお答えしたように、観光産業は裾野の広い産業です。観光産業において観光客の増や従事者の雇用が十分に確保されるよう、協議会として努めてまいりますので、これからもご協力をお願いします。</p>